

あおり教育フェスタの  
発表内容の一部について、  
紹介していきます！



こんな研究しています！

文責 研究委員会委員長 木村 浩

あおり教育フェスタ2017

研究員研究発表のご案内

☆発表日時：11月24日（金）発表順番2番

★発表場所：産業教育研修室

11月24日（金）ポスター展示 第1研修室

11月25日（土）ポスター展示 中研修室

教育相談課 研究員 市岡 紀恵



**発表テーマ**

小学校中学年における集団づくりを支援するプログラムの構築  
ー感情や意思の伝達に焦点を当てた集団活動を通してー

**研究目的**

小学校中学年において、感情や意思の伝達に焦点を当てた集団づくりの支援プログラムの実践を通して、自他を認識する力や仲間とつながる力の向上に有効であることを明らかにする。

**高学年になると・・・**

- ・学級を基盤に多様な集団に属す。
- ・人間関係や役割が学級内とは異なる。
- ・活動の目標を達成するような自治的な集団が求められる。

集団づくりにおいては  
互いの思いや意見を伝え合える  
関係性があるという土台が必要

中学年において・・・  
感情や意思を伝達する場や機会の設定

きまりって何？  
活動に必要なルールは？

ポジティブ感情  
ネガティブ感情  
アンガーマネジメント

**プログラムの構築**

- 「きまりの共有」
- 「自他の感情の認識」
- 「協同の活動」



感情の表し方  
受け止め方

リーダーシップとは？  
目標共有  
率先垂範  
他者支援

**児童の感想**

- ☆人とコミュニケーションがあまりできなかったけどできるようになった。
- ☆Win-Winの関係を意識して折り合いをつけられたのでよかったです。
- ☆人によって感じることや意見が違うことがわかりました。
- ☆普段あまり話せない人とも話してみたら楽しかった。
- ☆色々な人と関わって助けてもらったり、相手の感情を読み取ったりして仲良くできる時間が多くなりました。



あおもり教育フェスタ2017

**研究員研究発表のご案内**

☆発表日時：11月24日（金）発表順番2番

★発表場所：中研修室

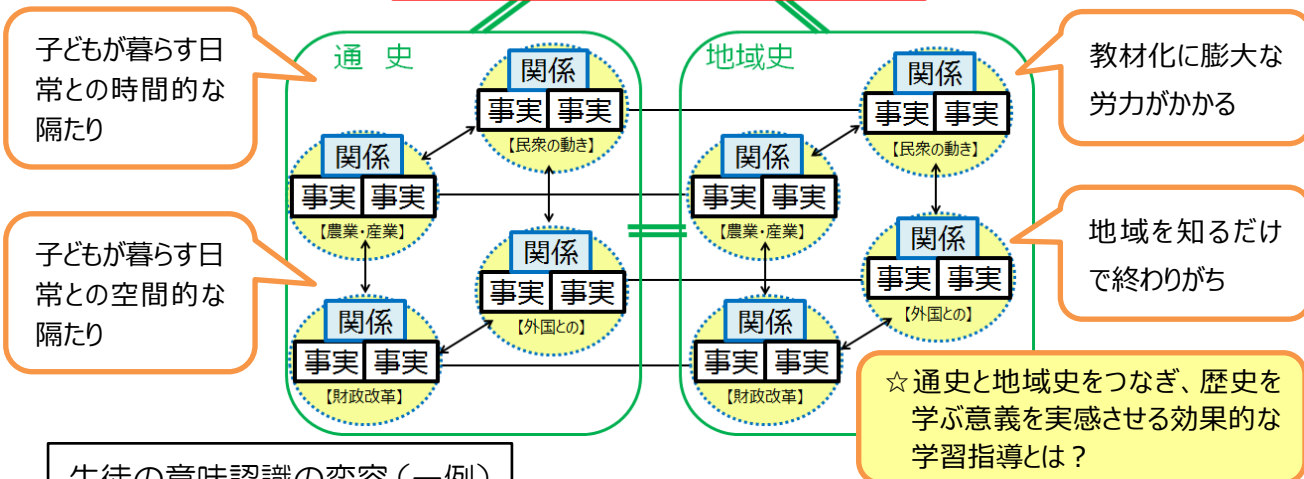
発表テーマ（中学校 社会）

**中学校社会科歴史的分野において、社会認識を深める指導法の研究**

—江戸幕府と津軽藩の政治を同じ視点で学習し、考察する活動を通して—

子どもの社会認識は「日常生活の中で、常識として自然に身に付くもの」が学習の前提としてあり、そこに「授業などを通し獲得する、知的な学習内容が結び付くこと」で深まります。教科書を中心に過去のこと・中央のことを学ぶ従来の学習では、歴史を学ぶ意義を実感させることは困難です。そこで、生徒の日常に近い地域の歴史を、授業に効果的に取り入れる指導法を研究しました。

**意味認識 江戸時代は〇〇な時代**



**生徒の意味認識の変容（一例）**

- ・江戸時代は いろいろなことが起こった時代 ➡ 民衆のことを考えた社会になった時代
- ・理由は 幕府がいろいろな改革や行動を行い、それに対して百姓などが一揆などで反発したから ➡ 幕府や藩は最初は自分勝手な行動をしていたけど、民衆が起こした一揆などのおかげで、平和な社会をめざしたから
- ・このことに 江戸時代はこの移り変わりが 対し自分は とても早かった、と考えた。 ➡ 江戸時代に百姓が中心となって一揆を起こし政治を変えたのはすごい、と考えた。

内容の詳細は、あおもり教育フェスタ2017でお伝えします！

あおもり教育フェスタ2017

平成29年11月24日（金）・25日（土）

KonKen 作成担当 産業教育課 石田 尚将 電話 017(764)1994